

インターネット・メールを活用した学校間交流

地元の川（瀬野川）を通じての新潟県 河原田小学校との交流

海田町

1 実践の視点

インターネット・メールを活用して情報を収集したり，他地域・他校と交流したりする。「瀬野川」にふれさせ，いろいろな体験をさせたり，調べたりする中でふるさとの川に対する誇りと愛情を育てる。

2 実践の内容

(1) 単元について

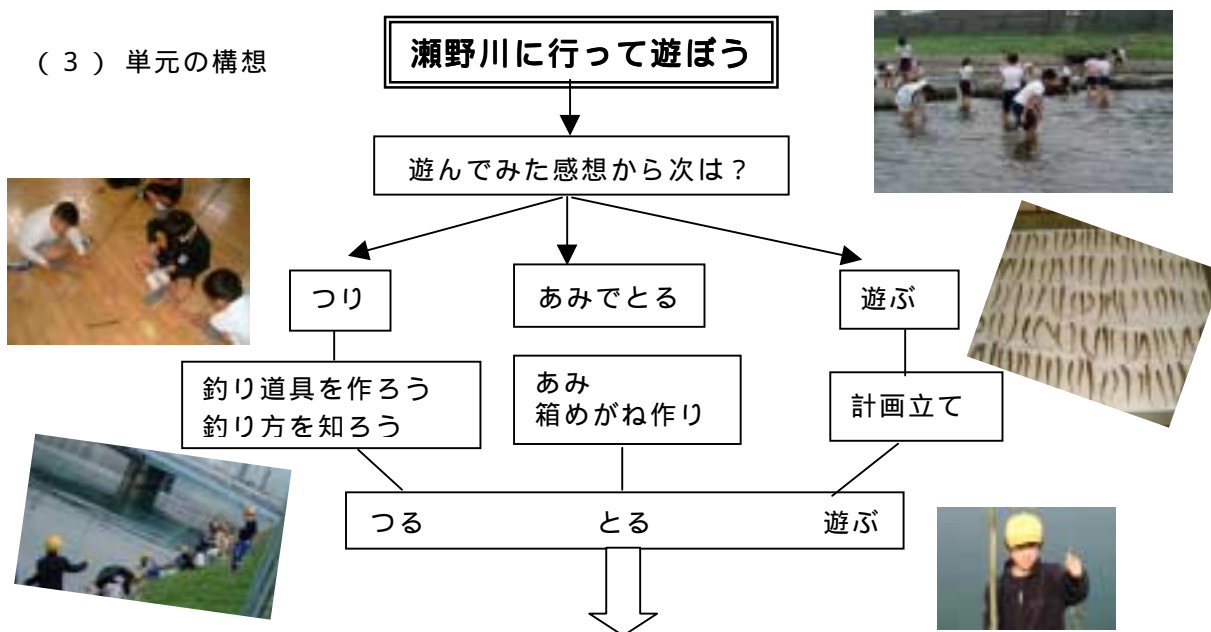
海田小学校は，日の浦山や瀬野川などの自然に恵まれており，自然を素材とした学習が十分にできる環境にある。その数多いふるさとの自然の中から，子どもたちに一番身近な存在として位置しているのが瀬野川である。今までの学習の中で身近になってきている瀬野川をもっと知ろうということで瀬野川が持っている豊かな自然について総合的な学習で取り上げることにした。

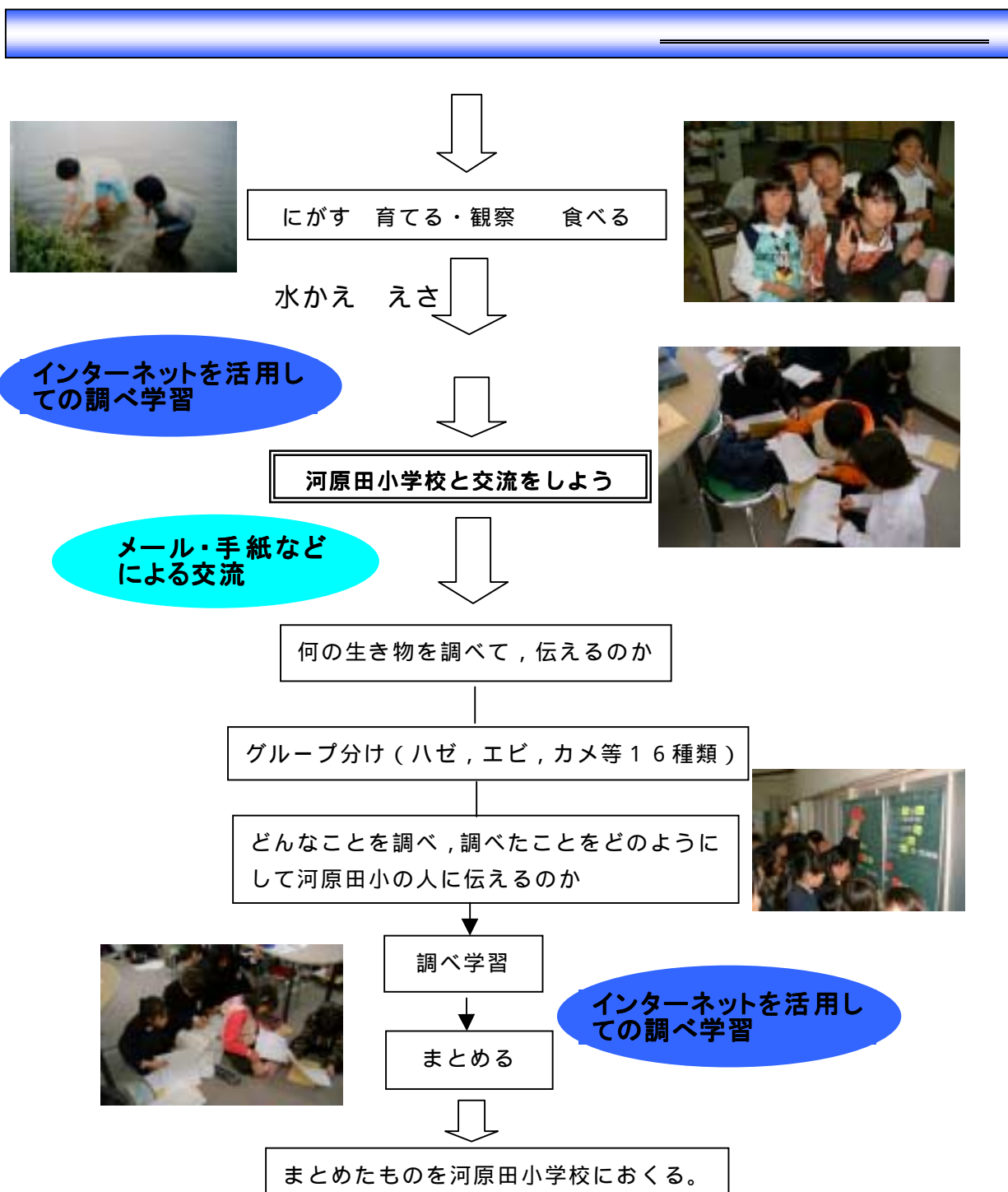
学習を進めていく上で新潟県佐渡郡の河原田小学校から届いたメールを子どもたちに紹介した。地元の川，石田川を調べている河原田小学校の子どもたちと交流することで学習に見通しが持て，知りえた情報をより分かりやすくまとめたり，伝えたりしようとするのではないかと考えた。そういう活動の中で瀬野川の良さを再認識し，誇りを持ち大切にしようとする心が育つであろうと考えた。

(2) インターネット・メールの活用について

学習の中において，興味のあることや疑問に思ったことを調べる手段としてインターネット検索を用いた。またメールを活用して他地域・他校の交流することで学習に見通しを持つことができ，発信相手を意識することで学習の意欲付けにもつながると考えた。

(3) 単元の構想





3 成果

インターネット等を活用しての調べ学習を行ったことより、課題解決などに主体的に取り組む児童が増えてきた。

交流する相手がいるということで、意欲付けにもなり、自分たちがまとめた情報をより分かりやすく伝えようと考えられるようになった。

児童の思いを大切にできた活動だったので、充実していた。

コンピュータの使い方（文書の作り方、メール等）に慣れ、うまく利用できるようになった。

瀬野川に対する思い入れが強くなった。より身近に感じられるようになった。